

高城台小デジタルシティズンシップ新聞 第3号

令和6年1月11日発行
文責 高城台小学校 教頭

高城台小学校では、1月22日(月)から、次の日の連絡をクラスルームでお知らせするようにします。学級によっては、その前から、この取組をするところもあります。また、今までどおり、連絡帳に書くところもあります。これについては、担任の先生の話をよく聞いて、取り組みましょう。

今回の取組をする理由の1つは、みなさんの連絡帳への記入忘れによる忘れ物を減らすためです。ですが、次の約束を守ってもらわないといけません。それは、

「クラスルームで送られてきた連絡を、必ず家の大人の人に見せること。」

です。そうする訳は、2つあります。

まず1つ目は、学校からの連絡は大事なものであり、もし見せておかないと、家の大人の人や先生たち、そしてみなさんが、とても困ることになるからです。

そして2つ目は、みなさんが使う「クロームブック」は、家でみなさんが使うスマホやタブレットとは違う「学習用タブレットPC」となり、「公的デジタルツール」になるということを、分かってほしいからです。今日は、「私的」と「公的」について考えていきましょう。

◎言葉について

○「私的」

その人個人にかかわること。プライベート。

※高城台小では、個人で持って使用する「私的」なデジタルツールを、「私的デジタルツール」と呼んでいきます。

○「公的」

個人ではなく、組織や外部、広く社会にかかわること。

※高城台小では、個人所有ではなく、仕事場や公共施設・学校など広く社会と関わり、それぞれの目的にそって使用する「公的」なデジタルツールを、「公的デジタルツール」と呼んでいきます。

○「学習用タブレットPC」

学校での学習や自主学習、学校での活動のために使うデジタルツール。みなさんが使うクロームブックは、この学習用タブレットPCになり、学校(長崎市)から借りているものです。

◎ 今日のテーマ「私的と公的」

デジタルツール(スマホ、タブレット、パソコンなど)では、いろいろなことができます。では、みなさんは、デジタルツールでどんなことをしていますか。みなさんの知っている大人の人は、どんなことをしていますか。

【問1】

デジタルツール(スマホ、タブレット、パソコンなど)で、みなさんがしていること、みなさんの知っている大人の人がしていることをいろいろと、書いてみよう。

【問2】

【問1】で書いたものを、「大人の人の仕事場や学校のデジタルツールでしてよいもの(公的デジタルツール)」、「自分や家族の個人のデジタルツールでしてよいもの(私的デジタルツール)」、「どちらか分からない」に分けてみよう

大人の人の仕事場や学校のデジタルツールでしてよいもの (公的デジタルツール)	自分や家族の個人のデジタルツールでしてよいもの (私的デジタルツール)	どちらか分からない

みなさんが使うクロームブックは、「学習用タブレットPC」と呼ばれる公的デジタルツールになります。

公的デジタルツールは、例えば車を作る会社では、よい車を作り、売る為に使います。そして、多くの公的デジタルツールは、その会社や組織から貸し与えられていて、会社や組織の目的とは違うことや「私的」なことには使ってはいけないという規則があります。

「学習用タブレットPC」も、学校(長崎市)から、学校の学習や自主学習、学校での活動に使うことを目的として、みなさんに貸し出されています。

「学習用タブレットPC」は、公的デジタルツールであり、連絡帳や筆箱と同じ学習道具です。毎日の連絡を確認することで、「学習のためのもの、公的なもの。」という意識を持ち、ゲームをしたり、学校の学習や自主学習とは関係ないサイトやYouTubeを見るような「私的」な利用をしたりしないようにしましょう。

もし、どうしてよいか分からない時は、①ちょっと待ち、②よく考えて、③先生や家の大人のの人に尋ねましょう。